

3

安全なくらしを守る

わたしたちのくらしを守るためにまちでは、どこで、どのような人たちが、はたらいているのでしょうか。みんなで話し合ってみましょう。

1

火事から人々を守る

気づく

火事からわたしたちのくらしを守ってくれるものには、どんなものがあるでしょうか。

火事をふせぐために

学校やお店など、たくさんの人が集まる場所には、火事をふせぐためのせつびがあります。どんなものがあるでしょう。

学校にある^{ぼうか}防火設備



↑ ^{かさいほうちき}火災報知器



↑ ^{ひじょう}非常口



↑ ^{ぼうか}防火とびら

まちの防火設備



↑ 消火せん



↑ ^{ぼうか}防火水そう

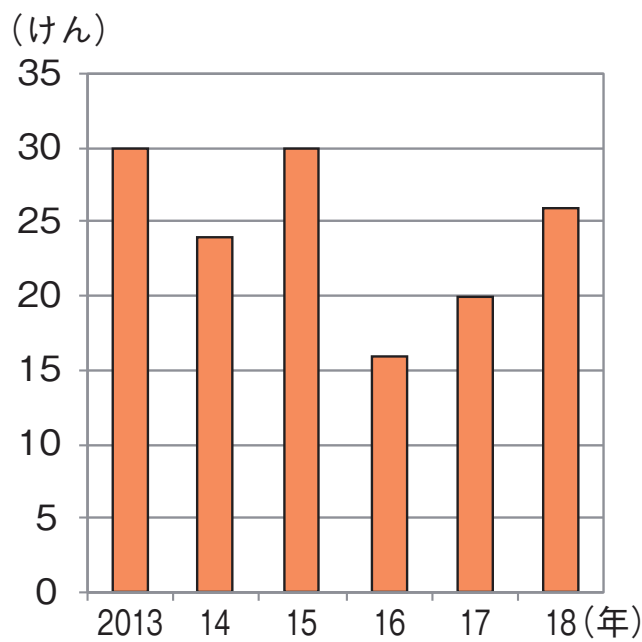


↑ ^{きゅうじょ}救助ぶくろを使ったひなん訓練の様子

ほかにも、ひなんけい路を^{せってい}設定したり、ひなん^{くんれん}訓練に取り組んだりしています。

火事はどんなふうにして起こるのだろう

草津市で起こった火事を調べてみました。



④ 草津市で起こった火災けん数
〔湖南広域消防局 平成30年消防統計〕

火災原因	けん数
たき火	8
電気機器	7
たばこ	7
放火(疑い)	7
ストーブ	3
コンロ	3
スパーク	3
屋内配線	2
その他	21

④ 火災原因〔2018年〕
〔草津市・守山市・粟東市・野洲市合計〕

気づく

火事はどのようにして起きるのでしょうか。

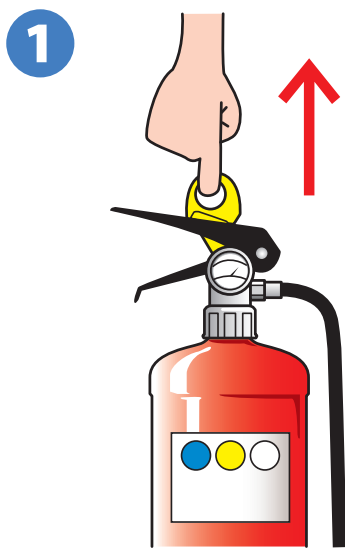
見方・考え方のポイント

火事の原因や火事のけん数の変化について、気づいたことを話し合おう。

火事をふせぐにはどうしたらいいのでしょうか。

また、火事を見つけた時にはどうしたらよいか、考えてみましょう。

● 消火器の使い方



安全ピン(栓)をぬく。



ホースの先をつかんで、火のほうにむける。



上のレバーと下のレバーをいっしょに強くにぎると、消火剤が放出される。

総務省消防庁「チャレンジ！防災48」より引用

調べる

消防しょの人たちの仕事はどのようなものがあるのでしょうか。

見方・考え方のポイント

写真を見て、下のポイントから消防士さんの仕事のくふうを考えてみよう。

- ポイント ①訓練
②点検

訓練・点検

消防士は、ふだんから消火や救助の訓練をしたり、消防自動車や道具などの点検をしたりして、火事にそなえている。

見学カード①(例)

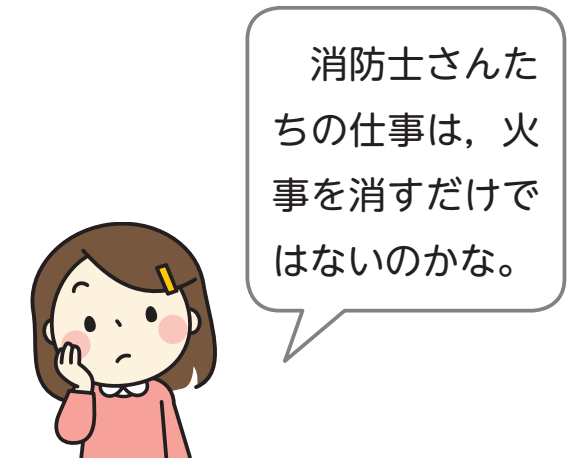
見てくること

火事が起こったときのために、消防士さんはどんな訓練をしているのだろう。

いざという時のために、毎日どんなことに気をつけて点検しているのだろう。

消防しょを見学しよう

湖南広域消防局西消防しょを見学しました。消防士さんが、設備や消防車についてくわしく説明してくださいました。



消防士さんたちの仕事は、火事を消すだけではないのかな。



消防自動車には多くの種類があります。



↑水そう付きポンプ車

↑救助工作車

↑はしご車

↑化学車

🔍 見方・考え方のポイント

それぞれの消防自動車にはどんなひみつがかくされているだろうか。調べてみよう。

たてもの
建物や道具にもどのような工夫があるのか、考えてみよう。

🗨️ 火事からくらしを守る人々の働きについて、調べたことを話し合おう。

西消防しょは、2015（平成27）年4月に新しく建てかえられました。防災センターがとなりにあり、200人入る研修室では、地域の方を対象とした防災学習も行っています。



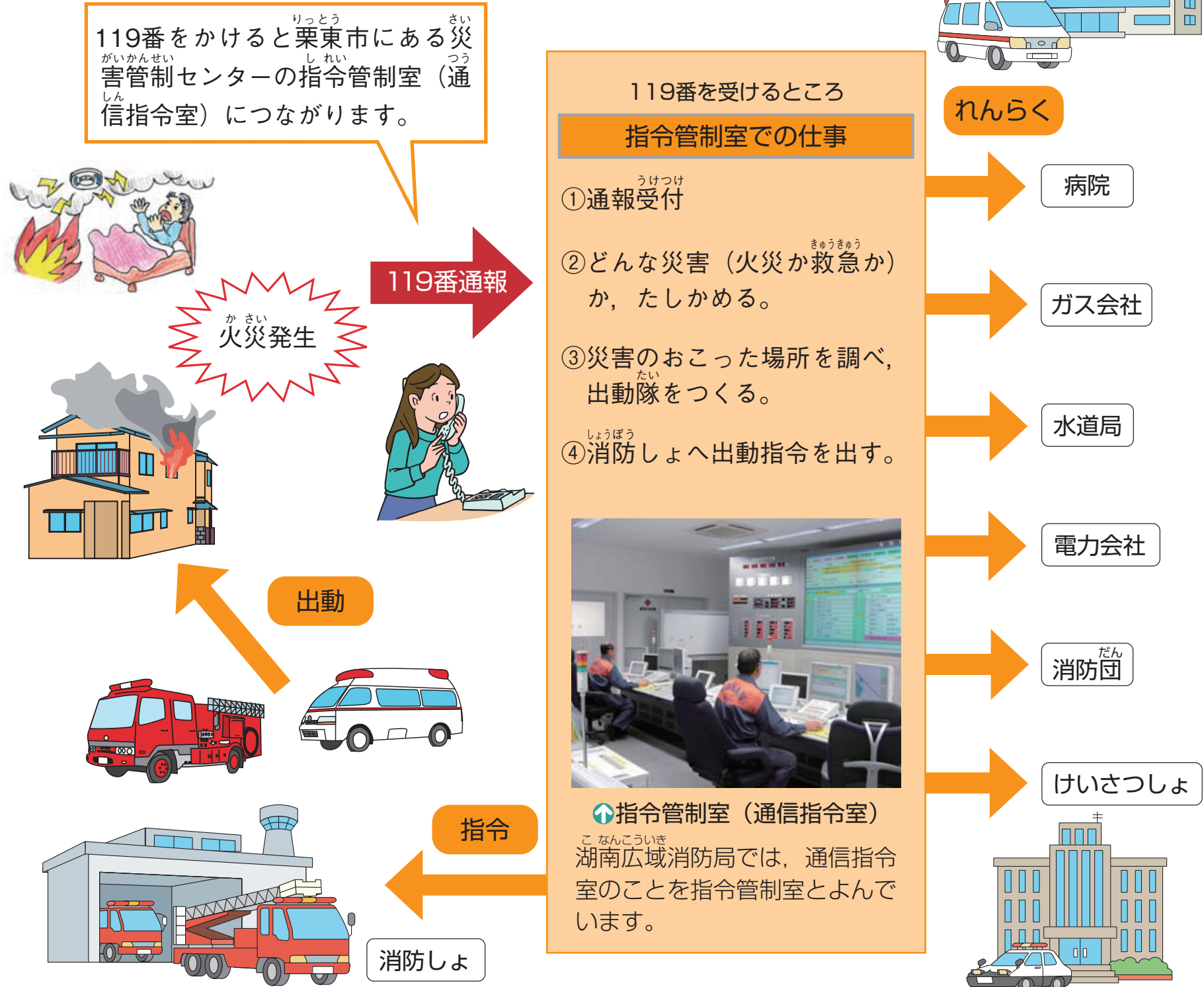
見学カード②(例)

見てくること

- 高規格救急車

- 水そうつきポンプ車

119番通報から出動まで



通信指令室

119番の電話をした時につながるところ。火災なのか救急なのかをたしかめ、火災の場所を確認します。消防しょに出動を指令したり、他の関係するところにも連絡を入れたりします。



消防士さんの話

消防しょでは、24時間いつでも指令を受けたら1分以内に出動できるようにそなえています。また大きな災害にも負けなよう、日ごろから訓練や体カトレーニングに取り組んでいます。

さいがい
災害にそなえる

災害にそなえた、地いきの取り組みについて調べてみることにしました。

しょうぼう ぼうさい
地いきの消防・防災せつび



市内いっせいきん急放送システム



防災びちく倉庫

さいがい
災害にそなえた活動



地いきの人と消防しょや消防団で協力



市内の小学5年生による防火ポスター

しょうぼうだん
消防団の人



消防士さんと協力して地いきの防火活動に取り組んでいます



表現する

さいがい
災害にそなえて、わたしたちにできることをノートにまとめましょう。

見方・考え方のポイント

自分の家では、さいがい
災害にそなえてどんなことをしているのか調べてみよう。

9 years plan

湖南広域消防局が進めている災害時に自分の命は自分で守る（自助）方法を身につけてもらうための学習プログラムのこと。

こども園・幼稚園・保育園（所）に在籍する3年間と小学校6年間の9年間で継続して行う。

消防団

地いきの人たちがつくる組織のこと。火事などのさい
がい
災害の時にしょうぼう
消防しょと協力する。

草津市では、2011（平成23）年から市内いっせいきん急放送システムがはじまりました。さいがい
災害などの
きん急時にFMラジオや屋外スピーカーから情報が発信されます。